

中部・近畿ラリー選手権およびJMRCラリーシリーズにおける 2018年以降のタイヤ規制に関するアンケートのお願い

JMRC 中部・近畿 ラリー専門部会

ラリー部会では、“参加しやすいラリー”“分かりやすい規則”を目指して、規則の整備を進めています。昨今の全日本ラリーやジムカーナ等で懸案となっているタイヤ規制について、下記に部会の方針を示しますので、一読の上、2ページ目のアンケートにご協力をお願いします。

(1) 中部・近畿ラリー専門部会の提案

「タイヤの規制をしない」(下記[案3])を提案します。

(2) 背景と理由

現在、中部・近畿ラリー選手権を含むラリーシリーズにおいては参戦費用軽減を目的に通称Sタイヤ(以下Sタイヤ)の使用を禁止していますが、ハイグリップラジアルタイヤ(以下HGラジアル)の登場(*)により、その目的に沿えない状況となっています。HGラジアルをも制限しようとするとなれば煩雑な規則、頻繁な規則改訂が必要となり、混乱を招く恐れがあります。

一方で、HGラジアルとSタイヤとでは排水性に大差はないと言われており、Sタイヤの制限を廃したとしても現行規則よりも安全性が低下することは実質的でないと考えています。

- * 全日本ラリーで排水性確保のために縦溝を複数有するタイヤに制限(実質のSタイヤ規制)。これに対し、Sタイヤ並みのグリップを発揮するラジアルタイヤが登場。

(3) 参考：ラリー専門部会の規則検討における方針

- <1> 参加者の費用負担を少しでも軽減したいという方針は変わらない。
- <2> 参加者にとってできるだけわかりやすい規則にしていきたい。
- <3> 参加者の混乱を避けるため、一度決めた規則は最低3年程度は変更なく継続したい。
(安全上重要な問題が発生した場合を除く。)
- <4> 重大な変更については、施行の半年前までには公示して参加者の準備期間を確保する。

(4) 参考：規則案とそのメリット/デメリット

以下3案について、メリット(+)/デメリット(-)を整理し、上記見解および提案に至りました。

[案1] Sタイヤのみ規制(現タイヤ規定)

- +参加者に一定の理解を得ており、定着している。
- HGラジアルの登場で、当初目的の参戦費用抑制に寄与できなくなった。
- HGラジアルの登場で、排水性確保による安全性確保の意味合いが薄れた。
- HGラジアルのサイズラインナップが限定的で、参加車両/タイヤの選択肢に限られる場合がある。

[案2] Sタイヤとハイグリップラジアルを規制(銘柄規制/許可)

- +現行規則よりも参戦費用抑制が期待される。
- +排水性が確保されたタイヤに制限され、現行規則より安全性を重視できる。
- 銘柄毎の使用可否の判断において、各メーカーのタイヤを平等に評価できない場合がある。
- 新しいタイヤの登場のたびに頻繁な規則改訂が必要となり、参加者の混乱を招く恐れがある。

[案3] タイヤ規制をしない

- +参加者の選択肢を広げられる。
- +明瞭な規則
- タイヤ規制による参戦費用抑制の考え方の取り止め

以上

～～～アンケート～～～

お名前(任意)

参加クラス

車両

1. タイヤ規制に関するアンケート

(1) ラリー部会提案の「タイヤの規制をしない」に対して

賛成する / 反対する

(2) (1)で賛成／反対の理由をご記入ください。(自由回答)

()

(3) (1)で反対の方、ご自身がよいと思うタイヤ規制案をご記入ください。(自由回答)

()

(4) 各規則案[1～3]のメリット／デメリットについて、他にあればご記入ください。(自由回答)

()

(5) その他、意見ございましたらご記入ください。(自由回答)

()

2. タイヤ使用状況調査アンケート

中部ラリー部会はタイヤメーカーより協賛を受けています。アンケート結果はそのフィードバックに使用しますので必ずご回答くださいますようお願いいたします。

(1) 今回のラリーでご使用になるタイヤ(メーカー、銘柄、サイズ)

()

(2) ラリーで使用するメーカーを年間を通して決めて決めていますか？差し支えなければそのメーカー名と理由をお教えてください。

()

(3) (2)以外のメーカーのタイヤを使用したことはありますか？ある場合、差し支えなければそのメーカーをやめた理由をお教えてください。

()

(4) 地方選手権への参戦時にドライとウェットでタイヤを使い分けていますか？いる場合、差し支えなければ、どのようなタイヤをそれぞれ用いていますか？

()

以上、ご協力ありがとうございました。